

# 長久手市青少年姉妹都市友好親善訪問団派遣

記事ID 6511

HPを見る

問 たつせがある課 ☎56-0641

## 訪問団、親善大使を立派に果たし、帰国!

平成30年8月22日(水)から29日(水)まで、市内在住・在学の中高生20人が、姉妹都市ベルギー王国ワテルロー市を訪問し、26年目を迎える友好の絆を確認しました。

### ホームステイや懇親会でお互いの文化を学びました



ワテルロー市長やまちの人たちから大歓迎を受けた訪問団員は、現地の公用語フランス語でお礼のスピーチを行いました。



派遣前から、研修を通じて日本文化の紹介方法を考えました。二人羽織、書道、折り紙、盆踊りなど、ワテルロー市のみなさんに体験してもらいました。

### 訪問団に参加しようと思っただきっかけは?

- ヨーロッパの文化や街並みに触れて固定観念に刺激を受けたかったから。
- ベルギーからの訪問団の受け入れをしたから。
- 英語に苦手意識があったので、言葉の通じない場所で過ごしてみたかったから。



ちらし寿司・そうめん・卵焼き・お好み焼き・おにぎり・餅・カレーライスなど、手に入る食材も違うので、日本から持参したり、代わりにもので工夫したりして頑張って作りました。ホストファミリーのみなさんも喜んでくれました。



### 日本食をふるまいました!



団員は2人1組で、ワテルロー市内10家庭で5泊6日のホームステイを体験し、家族の一員となって生活しました。お別れまでに、強い絆が結ばれました。

### 帰国報告会を行いました



詳細は市HPや市内施設配布の長久手市国際交流協会発行「長久手市青少年姉妹都市友好親善訪問団派遣ニュースター」をご覧ください。帰国報告会の様子は、市政情報番組「Weeklyながくて」10月8日の放送内容の特集でもご覧いただけます。

### 行く前と行った後で、自分が変わったところはありますか?

- 英語を使っただけの会話が上手くできず大変だった。勉強して、次はもっと話せるようになりたい。
- 外国の人と話すことに抵抗がなくなった。



平成31年夏には、ワテルロー市からの訪問団を受け入れ予定です。これまで培ってきた人と人とのつながりや多くの出会い、心の通った交流がますます深まるよう、歓迎ムードを高めていきましょう。

詳細は、今後広報ながくてでご案内します。